



**Hewlett Packard
Enterprise**

HPE 3PAR StoreServ Management Console 3.1 リリースノート

摘要

本書の情報は、Hewlett Packard Enterprise のお客様、パートナー、および Hewlett Packard Enterprise のサービス担当者を対象としています。本リリースノートでは、HPE 3PAR StoreServ Management Console 3.1 の機能および修正内容について説明しています。

部品番号: QL226-99382
発行: 2017 年 3 月
版数: 1

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商用コンピューター・ソフトウェア、コンピューター・ソフトウェア資料、および商用製品の技術情報は、ベンダー標準の商用ライセンスのもとで米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外にある情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Microsoft® および Windows® は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Java® および Oracle® は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

目次

HPE 3PAR StoreServ Management Console 3.1 リリースノート	4
説明.....	4
新機能.....	4
アップデート推奨.....	8
後継情報.....	8
製品.....	8
SSMC の情報への SPOCK でのアクセス.....	8
オペレーティングシステム.....	8
SSMC でサポートされている HPE 3PAR オペレーティングシステム.....	8
SSMC でサポートされているブラウザ.....	9
言語.....	9
修正点.....	9
連携の Peer ポートで予期される動作.....	10
既知の問題と回避策.....	11
前提条件.....	17
システム要件.....	17
サーバーサイジング情報.....	17
SSMC のセキュリティ設定.....	18
デフォルトの SSMC インバウンドポートの変更.....	18
HPE 3PAR CLI による LDAP のセットアップ	19
インストール手順.....	19
Windows 環境への SSMC のインストール.....	20
Windows での SSMC のサイレントインストールオプションの使用.....	21
Linux 環境へのインストール.....	21
Linux でのサイレントインストールオプションの使用.....	21
関連情報.....	21
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	22

HPE 3PAR StoreServ Management Console 3.1 リリースノート

説明

本書は、HPE 3PAR StoreServ Management Console (SSMC) 3.1 のリリースノートです。SSMC は、1 つのパッケージとしてインストールされるスタンドアロン製品です。SSMC は、Administrator Console と Main Console の 2 つのコンソールからなっています。Administrator Console を使用すると、HPE 3PAR StoreServ システムを追加、編集、および削除できます。Main Console からは、3PAR StoreServ システムを管理するための機能を使用することができます。

❗ 重要:

HPE 3PAR オペレーティングシステム 3.2.2 のリリースにより、SSMC は、3PAR OS 3.2.2 およびそれ以降のバージョンをサポートする 3PAR アレイのデフォルトの管理ツールとなりました。HPE 3PAR Management Console (MC) の最後のメジャーリリースは 4.7 です。

新機能

3PAR OS 3.3.1 のサポートに加えて、SSMC 3.1 には、以下の表に記載されている新機能が含まれています。SSMC のすべての機能についての概要は、*HPE 3PAR StoreServ Management Console 管理者ガイド* および *HPE 3PAR StoreServ Management Console ユーザーガイド* の最新バージョンを参照してください。

大分類	小分類	SSMC 3.1 での新機能
一般	ダッシュボード アクティビティ スケジュール 設定	
File Persona	ファイル共有 ファイルストア 仮想ファイルサーバ ファイルプロビジョニンググループ Persona 構成	以下のサポートが追加されました。 <ul style="list-style-type: none">エンタープライズファイルのロック。Thin Persistence の SCSI UNMAP。GiB 単位での FPG の拡張。フルプロビジョニングのボリュームまたはシンプロビジョニングのボリューム。SMB プロトコル設定の変更。CNA コンボカード。FTP 共有。

表は続く

大分類	小分類	SSMC 3.1 での新機能
Block Persona	ホスト ホストセット 仮想ボリューム 仮想ボリュームセット 共通プロビジョニンググループ (CPG) テンプレート	<ul style="list-style-type: none"> • 拡張された容量セービング/効率性の表示が含まれました。 • プロビジョニングタイプの選択肢からシン重複排除が削除され、シンプロビジョニングのフラグ/設定になりました。 • 以下のサポートが追加されました。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ HPE 3PAR Smart SAN Software 2.0 以降との統合。 ◦ SSD デバイスの仮想ボリューム圧縮。 ◦ 15TB SSD ドライブ。
Storage Optimization	Adaptive Flash Cache Adaptive Optimization Priority Optimization	
複製	Remote Copy 構成 Remote Copy グループ	<ul style="list-style-type: none"> • 暗号化されているシステムから暗号化されていないシステムへの Remote Copy の使用時の警告が追加されました。 • SLD および 3DC の Peer Persistence 構成に、ユーザーが追加のターゲットを指定できるようになりました。

表は続く

大分類	小分類	SSMC 3.1 での新機能
ストレージシステム	連携システム コントローラーノード ポート ドライブエンクロージャー 物理ドライブ	<ul style="list-style-type: none"> • 連携 <ul style="list-style-type: none"> ◦ ストレージ連携に、最大で 8 つのストレージシステムを含めることができるようになりました。 ◦ レガシーの 3PAR および IBM XIV（非 3PAR）ソースを、移行ソースとしてストレージ連携に追加できるようになりました。 <ul style="list-style-type: none"> – レガシーの 3PAR および IBM XIV ストレージシステムのオブジェクトを更新するようになりました。 – IBM XIV システムを対象とするホストをインポートするようになりました。 ◦ 連携の作成ダイアログおよび連携の編集ダイアログがアップデートされ、3PAR Smart SAN 対応のストレージシステムの選択およびゾーニングの確立が可能になりました。 ◦ Peer Motion 移行のスケジュール設定、および連携の一部である 3PAR ストレージシステムへのレガシーのストレージまたは非 3PAR システムからのデータ移行が可能になりました。 ◦ Peer Motion 移行中に移行された仮想ボリュームスペースの表示がより正確になりました。 ◦ 以下のすべての項目に該当する場合、Peer Motion 中、ターゲットシステム上に圧縮ボリュームを作成できるようになりました。 <ul style="list-style-type: none"> – ターゲットシステムが圧縮をサポートしている。 – CPG が SSD である。 – ボリュームのタイプがシンまたは重複排除である。 • ポート <ul style="list-style-type: none"> ◦ HPE Smart SAN がサポートされました。

表は続く

大分類	小分類	SSMC 3.1 での新機能
System Reporter	レポート しきい値アラート	<ul style="list-style-type: none"> • Virtual Volumes Capacity レポートから、VMware のストレージコンテナー、仮想マシン、VM ホスト、および VVol の状態のルールを選択できるようになりました。 • 3PAR OS 3.3.1 以降を実行しているシステム上で、しきい値アラートを編集できるようになりました。 • 設定で、IPv6 の SMTP サーバーアドレスを指定できるようになりました。 • システムパフォーマンスビューに、概要メトリックが追加されました。 • ストレージコンテナーおよび仮想マシンのメインメニューで、パフォーマンスビューがサポートされました。 • Remote Copy Volume レポートに、RPO メトリックが追加されました。 • VV Capacity レポートおよび CPG Capacity レポートで、圧縮メトリックがサポートされました。 • VV Capacity レポートおよび CPG Capacity レポートが簡素化されました。 • システム容量および CPG について、システムのメインメニューに容量予測ビューが追加され、1 年の履歴データをベースに、日々サンプルの予測データが提供されるようになりました。 • HPE 3PAR OS からサポートされている、以下の Excel アドイン機能が含まれるようになりました。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 3PAR OS 3.3.1 以降を実行しているシステムの System Capacity レポートを簡素化します。 ◦ VV Capacity レポート、Exported Volume Performance レポート、および Exported Volume ヒストグラムレポートの VMware VVOL メトリックを有効にします。 ◦ 3PAR OS 3.3.1 以降を実行している 3PAR システムに、System Capacity レポートを追加します。 ◦ VV Capacity レポートおよび Exported Volume Performance レポートで、Vvol メトリックをサポートします。 ◦ VV Capacity レポートおよび CPG Capacity レポートで、圧縮メトリックをサポートします。 ◦ VV Capacity レポートおよび CPG Capacity レポートを簡素化します。 ◦ IPv6 を実行している SSMC サーバーに接続します。 ◦ 物理ドライブ、ポート、およびエクスポート済みボリュームのコンポーネントに、概要メトリックを追加します。
セキュリティ	ユーザー LDAP ロール 接続 ドメイン	<ul style="list-style-type: none"> • 2 要素認証 (2FA) のサポートが追加されました。 • LDAP 構成の作成および LDAP 構成の編集ダイアログに、ユーザーインターフェイスであるサービスアカウントパネルおよび CAC 認証パネルが追加されました。 <p>サポートされている CAC についての詳細は、SPOCK にあるサポートマトリックスを参照してください。</p>

表は続く

大分類	小分類	SSMC 3.1 での新機能
VMware	ストレージコンテナ — 仮想マシン	仮想マシンおよび VVol の複製情報が表示されるようになりました。
その他	Admin Console	3PAR StoreServ システムへの IPv6 接続をサポートするようになりました。

アップデート推奨

アップデートの推奨: 推奨

後継情報

更新された情報: HPE 3PAR StoreServ Management Console 3.0

製品

このリリースは、以下の製品ファミリに適用されます。

- HPE 3PAR StoreServ 7000 ストレージ
- HPE 3PAR StoreServ 8000 ストレージ
- HPE 3PAR StoreServ 10000 ストレージ
- HPE 3PAR StoreServ 20000 ストレージ

SSMC 2.2 以降では、最大 32 台の 3PAR StoreServ ストレージアレイを接続できます。

SSMC の情報への SPOCK でのアクセス

手順

1. **SPOCK** にログインします。
2. SPOCK Home ページの左ナビゲーションペインで、Software までスクロールダウンし、**Array SW: 3PAR** をクリックします。
3. HPE 3PAR Operating System Software: Array Software までスクロールダウンし、HPE 3PAR StoreServ Management Console にある最新バージョンの SSMC をクリックします。

オペレーティングシステム

SSMC は、以下のホストプラットフォームオペレーティングシステムにインストールできます。

- Red Hat Enterprise Linux
- Microsoft Windows Server
- VMware vSphere

サポートされているオペレーティングシステムのバージョンの最新のリストについては、[SSMC の情報への SPOCK でのアクセス](#)を参照してください。

SSMC でサポートされている HPE 3PAR オペレーティングシステム

- HPE 3PAR 3.1.3 (すべての MU を含む)
- HPE 3PAR 3.2.1 (すべての MU を含む)

- HPE 3PAR 3.2.2 (すべての MU を含む)
- HPE 3PAR 3.3.1

最新の情報にアクセスするには、[SSMC の情報への SPOCK でのアクセス](#)を参照してください。

SSMC でサポートされているブラウザー

SSMC は、以下のブラウザーをサポートしています (64 ビットをお勧めします)。

- Microsoft Internet Explorer
- Microsoft Edge
- Google Chrome
- Mozilla Firefox

最新バージョンについての情報は、[SSMC の情報への SPOCK でのアクセス](#)を参照してください。

言語

SSMC は一般的に、英語、ドイツ語、日本語、および簡体字中国語をサポートしています。サポートされているオペレーティングシステムでの SSMC のインストールでサポートされている言語の最新のリストについては、[SSMC の情報への SPOCK でのアクセス](#)を参照してください。

修正点

このバージョンでは、以下の問題が修正されています。

問題 ID	問題
132575	仮想ボリュームの数が一致しません。
144315	Host Explorer の表に、誤った情報がリストされます。
169777	連携は、非 Smart SAN Peer ポートがすでに存在している場合でも、新しい Smart SAN 対応の Peer ポートを作成します (連携の Peer ポートで予期される動作 を参照してください)。
183019	OK を選択しても、ポートペアの編集ダイアログのフィールドに対して、適切な更新が行われません。
184778	RC グループのフィルターペインのモードフィルターが、 すべてのモード が選択された場合に、誤ったモードを選択します。
184994	ホストの作成で、ホスト OS の選択肢が誤って表示され、作成操作が失敗します。
186510	日本語では、メインメニューの構成で、すべてのカテゴリに なし が表示されます。
187126	SSMC の使用中、Chrome ブラウザーが「Aw, Snap!」エラーでクラッシュします (Chrome バージョン 54 以降で修正されています)。
187410	Remote Copy グループを削除し、同じ名前で作成すると、500 エラーで失敗します。
187427	アレイが SSMC から削除されるのを待っているときに、要求がタイムアウトします。

表は続く

問題 ID	問題
187444	権限がありません。3paradm はこのページを参照する権限がありません、というポップアップエラーが表示される問題。
187457	多数のホスト（他のオブジェクトも含まれる可能性あり）をコピーしているときに、サーバーダウンエラーが発生しました。
188094	Redhat 7.2 の libpng12 セキュリティアップデートが行われていないと、SSMC サーバーを再起動できません。
188479	System Reporter のボリュームサイズを変更すると、システムが無効なエラーメッセージを表示します。
188612	ページのデータで問題が検出されると、システムが不明ステータスとして誤って判断されます。
188921	スケジュール設定されたレポートの保持が、ユーザー指定のディレクトリで行われます。
189071	ホストポートと Peer ポート間の変換を含む連携を作成すると、Peer リンクのステータスが不正確になることがあります。
189811	グローバル設定→System Reporter の設定→共有ディレクトリパス指定時の問題。
190304	SSMC は、無効な認証情報を使用し、3PAR サーバーに対して認証を試みます。
190708	連携の作成中または編集集中に、移行ソースが 利用可能 と表示されます。
192769	SSMC 3.0 以前を実行しているシステム上の移行ソースに対してアレイを追加すると、ポート<n:n:n>では、モード変更は禁止されていますエラーが発生します。
194482	「domain\user」というフォーマットの LDAP ユーザーでは、SSMC にログインできません。
197137	圧縮ボリュームの移行エラーです。

連携の Peer ポートで予期される動作

問題 169777（170911）の対応を行うと、予期される動作は以下のようになります。

- ポートが 3 つ以上あるシステムは、連携への追加には利用不可と表示されます。既存の非 SmartSAN Peer ポートがあるシステムは、SmartSAN の連携への追加には利用不可と表示されます。非 SmartSAN システムに複数の Peer ポートがある場合、詳細は、システムの選択時に表示される黄色のバナーを参照してください。
- 連携の作成時、既存の Peer ポートがある場合はそのポートを選択する必要があります。新しい Peer ポートを選択すると、UI からエラーが返され、先に進むことはできません。1 つのシステムが、3 つ以上の Peer ポートを持つことはできません。
- 既存の Peer ポートが 2 つあるシステムの連携の編集時に、新しいポートを選択すると、既存のポートはホストポートにリセットされます。既存の Peer ポートの再構成中にエラーが発生しない限り、1 つのシステムは編集後に 3 つ以上の Peer ポートを持つことはできません。アクティビティパネルでメッセージを探してください。

既知の問題と回避策

❗ 重要:

HPE 3PAR Remote Copy 非同期ストリーミング構成は、圧縮をサポートしていません。圧縮されたボリュームには、非同期ストリーミング複製モードを使用しないでください。

レポート:

- 異なるタイムゾーンの 3PAR StoreServ システムでは、スタック済みのチャートの比較はサポートされていません。
- スケジュール済みレポート、または PDF または CSV へのエクスポートでは、比較機能はサポートされていません。
- アクセスカウントのパーセント領域があるヒストグラムレポートでは、PDF へのエクスポートおよびスケジュール済みレポートの PDF はサポートされていません。
- 意味のあるデータを比較レポートが提供するのとは、同じバージョンの 3PAR オペレーティングシステムを実行しているシステムを比較する場合だけです。バージョンによっては、サポートされているメトリック/オプションが異なります。
- 特定の時刻データでは、高解像度サンプリング間隔の次へおよび前へオプションは、オンノードの SR で設定された高解像度サンプリング間隔にかかわらず、必ず 5 分固定になっています。
- 20k を超えるレコードを要求するレポートを作成すると、表示するデータがありませんという RHS レポートが結果になります。20k を超えるレコードを要求するスケジュール済みタスクは失敗します。代わりに、フィルターを使用して要求を絞り込んでください。

しきい値アラート:

- CLI または SSMC UI を使用して作成され、その後 CLI を使用して変更されたアラートルールについては、しきい値アラートの編集はサポートされていません。3PAR CLI クライアントを使用してアラートを編集してください。
- SSMC がサポートしていないオプションを指定して CLI で作成されたしきい値アラートでは、適切な詳細が概要に含まれていないことがあります。これらのアラートパラメーターを参照するには、3PAR CLI クライアントを使用してください。

データキャッシュおよび制御キャッシュの合計サイズの、物理サイズと報告されたサイズの不一致

Controller Nodes Physical Memory チャートおよび Systems Resources チャートでは、SSMC はデータキャッシュの合計および制御キャッシュの合計を、実際に取り付けられている物理サイズよりも少なく報告します。たとえば、SSMC ではデータキャッシュの合計が 28.96GB と表示され、取り付けられている物理サイズが 32GB であることがあります。

SSMC は `statcmp` のページレジットや、ミラーリングなどの他の用途に予約されているパーティション化されたクラスターメモリ部分を計算に入れられないため、出力に違いが発生します。

System Reporter

- SSMC 3.0 以降にアップグレードすると、レポートのサンプリング解像度が最適化され、パフォーマンスが向上します。たとえば、1 か月の高解像度レポートが、1 か月の毎時レポートに最適化されます。
- ポートのリアルタイムレポートは、IP ベースのポートをサポートしていません。
- スケールされた環境では、環境の規模によって、レポートの生成にさらに時間がかかる場合があります。

Hewlett Packard Enterprise では、レポートの作成時に上記のような問題が発生しないように、可能な場合はすべてオプションを選択するのではなく、**オブジェクトでフィルター**、**ルールでフィルター**、または**上/下オプション**を使用することをお勧めします。また、Hewlett Packard Enterprise では、Chrome ブラウザーの使用をお勧めします。

一般的な問題

問題 ID	問題	説明	対処法
122152	SSMC からのファイルサービスの削除が失敗します。	VFS およびファイルストアを削除しようとする、失敗します。	SSMC からすべてのファイルサービスコンポーネントを削除する場合は、SSMC から File Persona グループを削除してください。これにより、すべての子オブジェクトが同時に削除されます。
122178	隔離ファイルの移動が成功しますが、アクティビティは失敗を報告します。	ファイルが移動されていても、隔離ファイルを移動するための ウイルス対策 (AV) 隔離を管理 の使用によるアクティビティが失敗を報告することがあります。これは、移動されたファイルのパーミッションが、移動後に保持されないことにより発生します。	エラーが報告されていても隔離ファイルが移動されていることを確認してください。確認されたファイルのパーミッションを調べ、正しいことを確認してください。
122205	アクションメニューが表示されないことがあります。	左側のリストペインを展開し、フィルターサイドバーまたはアクティビティサイドバーを表示した場合、 アクションメニュー が表示されないことがあります。	左側のリストペインを展開しないか、高い画面解像度を使用するか、またはブラウザのウィンドウサイズを大きくしてください。
122838	レポート作成/Edit report ダイアログは、常にブラウザのローカルタイムゾーンを使用します。	StoreServ ストレージシステムおよび SSMC ブラウザーが別のタイムゾーンを使用している場合、カスタムタイムレポートの生成中に、StoreServ の時刻を直接入力することはできません。	StoreServ の時刻を手動でブラウザのローカル時刻に変換し、変換後の時刻をカスタムタイムとして入力してください。
124078	ファイルオブジェクトの編集または作成時に、以下のような障害メッセージが出力されます。 <ul style="list-style-type: none"> • Failed: status=500, exception • Failed: unmatched open brace in list • Failed: list element in braces followed by "\" instead of space • FAILED : Command contains unprintable characters: 	コメントフィールドに特殊文字を指定して FPG、VFS、ファイルストア、またはファイル共有を作成および編集すると、作成または編集が失敗するか、またはコメントが正しく表示されないことがあります。	コメントフィールドでは特殊文字を使用しないでください。

表は続く

問題 ID	問題	説明	対処法
127408	削除されたレポートオブジェクトが、レポート中に表示され続けます。	特定のオブジェクトを選択してレポートを生成した後、選択されたすべてのオブジェクトを削除した場合、レポートは引き続きすべてのオブジェクトを表示します。	選択されたオブジェクトを削除するときにレポートも削除し、新しいオブジェクトを選択して新しいレポートを作成してください。
129834	レポートが重大または警告の状態でも、エラーメッセージが生成されません。	SSMC は、レポートが不正な状態に入った場合、エラーメッセージを表示しないことがあります。たとえば、アレイ上でオンノードの System Reporter サービスが動作していない場合、レポートは不正な状態に入り、エラーメッセージは SSMC には表示されません。	なし
136797	テーブル内の項目を大量に選択するとサーバーエラーが発生します。	テーブル内で 99 個を超える数の項目を選択すると、サーバーエラーが発生します。	ブラウザーをリフレッシュしてエラーをクリアしてください。この問題を防止するには、選択するオブジェクトの数を 99 個未満に制限してください。
137856	特定の時刻に複数のシステムを比較して表示するレポートで、選択した時刻に一部のシステムデータが表示されません。	レポートは特定時点の、システムのパフォーマンスデータを表示します。ただし、その時点のデータが利用できない場合、レポートは、最寄りのタイムスタンプのデータのみを表示します。	これは、予期された動作です。生成されたレポートポップアップグラフは、その時点で利用可能なデータを持つシステムを表示します。
138893	アクティブノードを再起動するときに、システムが 500 エラーを返します。	アクティブノードが SSMC の Adaptive Flash Cache ページ上にあるときにそのノードをアレイから再起動すると、システムはサーバー 500 エラーを返します。	Adaptive Flash Cache ページを表示しているときにアレイのアクティブノードを再起動しないでください。
139231	タッチスクリーンデバイスを使用する場合、マップビューが正常に動作しません。	タブレットユーザーがマップビューでタッチコントロールを使用する場合、オブジェクトにカーソルを合わせてその情報を表示することはできません。スクリーン上を移動する指などがそのオブジェクトにわずかに接触しただけで、別の画面がユーザーに表示されます。	デスクトップブラウザーまたは外部ポインティングデバイスを使用してください。
139556	ローカル言語のフォント関連の問題	SSMC では現在、英語および日本語フォントのみが利用できます。	---

表は続く

問題 ID	問題	説明	対処法
144309	Host Explorer のテーブルに表示されないホストがあります。	クラスターに属しているホスト名をユーザーが削除した場合、 SSMC の FC の追加 ダイアログには、そのクラスターホストに関連する一部のホストが表示されないことがあります。	クラスターホストに関連する WWN を使用して、クラスターホストを作成してください。
146323	ファームウェアのバージョン、ドライバーのバージョン、速度、および複数接続(アタッチ)の情報が不足しています。	iSCSI 接続があるホストを作成した後、HBA セクションの SSMC ホスト詳細ページには、予期された情報が表示されないことがあります。	なし
146347	ボリュームをエクスポートすると、情報が表示されません。	ボリュームをエクスポートすると、SSMC は RHS ボリュームエクスポートテーブルの Multipathing、FailedPathPolicy、および MonIntervalSecs データを、必ずしも表示していませんでした。	なし
156636	SSMC では、2 つの連携が同じ名前でもリストされません。	SSMC サーバーは、ユーザーが、異なるアレイ上に同じ名前でも複数の連携構成を作成することを防止できません。自動検出により、異なるアレイ上の連携が検出され、SSMC に表示されます。ユーザーは、異なるアレイ上に同じ名前の連携があることを、ここで理解する可能性があります。	混乱を避けるために、一意の連携構成名を使用してください。重複した連携名が検出された場合、片方を新しい名前に変更してください。
161249	計測対象のクォータを示す現在値が、自動的に更新されません。	ユーザー、グループ、およびファイルストアのクォータをリストする画面では、計測対象のクォータを示す現在値が更新されません。	最新の値を参照するには、SSMC サーバーを停止して再起動するか、または CLI の showsquota ... を使用してください。
164738	VMware VVOL が、SSMC の仮想ボリュームのテーブルに表示されません。	SSMC は、3PAR アレイ内に存在する VMware VVOL オブジェクトを管理しませんが、これらのオブジェクトが SSMC の仮想ボリュームテーブルに表示されることが時々あります。	テーブル内にこれらのオブジェクトが存在していても問題はないため、無視してください。
168354	2 要素認証の場合に、PIN が繰り返し要求されます。	一部の環境では、ブラウザーが CaC カード/2 要素認証デバイスに対して PIN を繰り返し要求します。	対応策については、 https://trycatchthrow.wordpress.com/2013/07/19/annoying-multi-pin-prompts-when-using-common-access-cards-cac を参照してください。

表は続く

問題 ID	問題	説明	対処法
183960	連携を作成しても、8 つすべての NPIV Peer ポートが作成されません。	3PAR ファームウェアバージョンが 3.2.2 EMU3 の場合にアレイ上に新しい連携を作成すると、このアクションでは、アレイ上に 8 つすべての NPIV Peer ポートが作成されないことがあります。	以下の 3PAR CLI コマンドを使用して、影響のある Peer ポートに対して 8 つすべての仮想ポートを作成してください。 <pre>controlport offline -f n:s:p</pre> <pre>controlport config peer -ct point -virt_ports 8 -f n:s:p</pre>
184261	バックグラウンド検出の検索では、Administrator Console での信頼できる認証情報の変更を検出できません。	検索データベースを設定するために使用されるバックグラウンド検出は、信頼できる認証情報の変更を検出せず、古い認証情報を使用し続けます。変更方法によっては、検索機能が検索ポーリングを 2 回行うことも、サーバーログにログイン失敗を報告することもあります。	—
184398 (153906)	連携のコメントが折り返されません。	CSS スタイルシートは、スペースなしの長い単語を分割することができません。このため、長いコメントがページからはみ出します。	コメントにスペースを入れてください。
184907 (190807、193765)	Peer Motion のワークフロー内で、キャッシュに関連するエラーを受け取りません。	複数のボリュームを同時に受諾しているときに部分的に障害が発生した場合、連携にはその障害が通知されません。これにより、ボリュームがキャッシュにないというエラーメッセージが出力されません。	ワークフローを再試行してください。
186097	英語以外の PDF の目次が、英語で表示されます。	PDF の目次では、ローカリゼーション/国際化はサポートされていません。このため、サポートされている言語すべてで、目次は英語で表示されます。	なし
186947	連携の概要ウィンドウの連携トポロジに含まれているシステムボックスでは、システム名が切り詰められています。	長いシステム名をシステムが表示した場合、連携の概要ウィンドウが切れたように見えることがあります。	デスクトップ上で、長いシステム名の上にカーソルを重ねると、システム名全体が表示されます。

表は続く

問題 ID	問題	説明	対処法
187321	vwset の RHS のエクスポートセクションにデータが表示されません。エクスポートテーブルがタイムアウトします。	ポートを使用して vwset をエクスポートしているときに、アクティブな VLUN の数が 86K まで増加した場合、RHS ホストのリンクがタイムアウトすることがあります。	既存のホストがあるポートに vwset をエクスポートしないでください。
190077	重複排除の推定の結果テーブルの値が誤っています。	仮想ボリュームのプラグインを使用して重複排除セービングを推定すると、アクティビティの詳細が、重複排除の推定テーブルから誤った値を返すことがあります。	なし
191782	VVset の移行の失敗が、LUN の問題を示していません。	—	ターゲット上の既存の VVset へボリュームを移行する前に、VVset が予約している LUN ID の範囲が、移行するボリュームに対応できることを確認してください。
192622	SSMC SR のレポートおよびアラートでは、SSD100 および SSD150 メトリックをマージする必要があります。	各メトリックは、すべての SSD の組み合わせに適用されます。	SSD100 または SSD150 メトリックを使用してアラート基準を作成することは引き続き可能です。これらのメトリックは、アップグレード後も使用でき、アラートを生成します。
193042	Smart SAN を使用する、以前に削除された連携メンバーを追加することができません。	<p>連携メンバーを Smart SAN 対応の連携構成に追加すると、その連携メンバーが Smart SAN 対応の同じまたは別の連携構成から削除された直後であった場合、手動ゾーニング済みというアレイステータスを示すエラーが返されることがあります。</p> <p>これは、以前のゾーニング削除およびキャッシュのアップデートが、アレイ上でまだ進行中であるために発生します。</p>	10 分待ってからやり直してください。
193151	アレイでの証明書の変更による再起動後、キャッシュにシステムセッションが表示されます。	SSMC は、ストレージシステムの証明書の変更（期限切れまたは CLI のアップデート）を検出し、そのセッションを証明書の受諾が必要としてマークします。この現象が発生したときにログインしていたユーザーには、このストレージシステムが不明としてリストされることがあります。	ログアウトして、再度ログインしてください。

表は続く

問題 ID	問題	説明	対処法
198420	createhost を使用して複数のホストを追加すると、予期しない結果となります。	SSMC の Smart SAN ベースのホストの作成は、場合によっては複数の WWN を複数のゾーンに追加します。	ホストの作成を使用して、一度に 1 つのポート WWN を追加してください。1 ポートのホストを作成し、その後ホストを編集して 2 つ目のポート WWN を追加、以降も同様にしてください。
200189	アップグレード後または SSMC の再起動後、しきい値アラートルールの電子メール通知が無効になります。	SSMC サービスの再起動後、または古いバージョンから SSMC 3.1 へのアップグレード後、しきい値アラートルールの電子メール通知は、自動的に無効になります。	手動でしきい値アラートルールを選択し、アクションのメール通知を有効にしますを選択してください。

前提条件

システム要件

最小システム要件は以下のとおりです。

- サポートされている 64 ビットオペレーティングシステム ([SSMC の情報への SPOCK でのアクセスを参照](#))
- Core i5 デュアルコア CPU
- 取り付け済みの 4GB の RAM (推奨されるメモリおよびコアのサイズについては、[サーバーサイジング情報](#)を参照)
- 2 GB の空きディスク容量
- 1366×768 以上の画面解像度
- 連携のメンバーシップおよび互換性には、以下の要件があります。
 - 3PAR オペレーティングシステム 3.2.2 以降
 - Peer Motion、ストレージ連携、および Online Import ライセンス
 - ケーブル接続およびポートの構成の要件 ([Hewlett Packard Enterprise Information Library](#) を参照)

❗ 重要:

1 つのストレージ連携を管理できるのは、1 つの SSMC インスタンスのみです。

推奨される追加のシステム要件は以下のとおりです。

- Core i5 または i7 クアッドコア CPU
- 8GB の RAM (推奨されるメモリおよびコアのサイズについては、[サーバーサイジング情報](#)を参照)

サーバーサイジング情報

SSMC サーバーは最大で 65% のシステム RAM を使用するため、同じシステムにインストールされている他のソフトウェアに影響を及ぼす可能性があります。Hewlett Packard Enterprise では、ノートパソコンでない専用のシステムに SSMC をインストールすることをお勧めします。SSMC は、ノートパソコンの省電力機能をサポートしていません。

SSMC が管理 するオブジェ クトの総数 ¹	管理対象アレイの数				
	2	4	8	16	32
CPU コア/システムメモリ					
32,000	2 コア	2 コア	4 コア	8 コア	16 コア
	4GB	4GB	4GB	4GB	4GB
64,000	2 コア	2 コア	4 コア	8 コア	16 コア
	8GB	8GB	8GB	8GB	8GB
128,000	2 コア	2 コア	4 コア	8 コア	16 コア
	16GB	16GB	16GB	16GB	16GB
256,000+	2 コア	2 コア	4 コア	8 コア	16 コア
	32GB	32GB	32GB	32GB	32GB

¹ SSMC が管理するオブジェクトの総数を計算するには、HPE 3PAR StoreServ Management Console 3.1 管理者ガイドで `metrics.log` の詳細を参照してください。

SSMC のセキュリティ設定

SSMC は、通信のために特定のポートを必要とします。Hewlett Packard Enterprise では、3PAR StoreServ アレイへの接続のための認証方法として、LDAP サーバーを構成することもお勧めします。

インバウンドおよびアウトバウンドのポートの設定

ブラウザからのインバウンド通信を許可するために、SSMC はインバウンドポート 8443（デフォルト）を使用します。このポートは、SSMC を再インストールすることなく、他のセキュアなポート設定に変更することができます（[デフォルトの SSMC インバウンドポートの変更](#)を参照してください）。

SSMC はアレイとの通信するために、アウトバウンドポート 5783 を使用します。このポートを変更することはできません。

SSMC は、[Hewlett Packard Enterprise StoreFront Remote](#) との通信にポート 443 も使用し、SSMC および HPE 3PAR オペレーティングシステムのバージョン情報を取得します。

ポートについての最新情報は、[HPE Storage Information Library](#) から入手できる、ご使用のプラットフォームのサイト計画ガイドを参照してください。

LDAP 設定

LDAP サーバーは、3PAR StoreServ ストレージシステムアレイへ接続するための認証方法です（[LDAP Authentication Best Practices](#) を参照してください）。構成についての情報は、[HPE 3PAR CLI による LDAP のセットアップ](#)を参照してください。

デフォルトの SSMC インバウンドポートの変更

このタスクについて

クライアントブラウザと SSMC サーバーの間のインバウンドポートは、SSMC を再インストールすることなく変更することができます。

-
- ❗ **重要:**
Windows でデスクトップのショートカットを使用して SSMC を開いている場合は、プロパティダイアログボックスの Web ドキュメントタブのポート番号も変更する必要があります。フォーマットは、`https://<localhost>:<port number>/`です。 .
-

手順

1. SSMC サーバーをシャットダウンします。
 - **Windows コマンド:** `sc stop ssmc`
 - **Linux コマンド:** `service ssmc stop`
2. `jetty-ssl.xml` ファイルを編集します。
 - **Windows での位置:** `C:\Program Files\Hewlett Packard Enterprise Enterprise\SSMC\ssmcbase\etc\jetty-ssl.xml`
 - **Linux での位置:** `/opt/hpe/ssmc/ssmcbase/etc/jetty-ssl.xml`
3. ファイル内で以下の行を見つけ、新しいポート番号を、`default="port_number"`と指定します。
 - **Windows での位置:** `<Set name="port"><Property default="8443" deprecated="ssl.port" name="jetty.ssl.port"/></Set>`
 - **Linux での位置:** `<Set name="port"><Property name="jetty.ssl.port" deprecated="ssl.port" default="8443" /></Set>`
4. ファイルを保存し、サービスを再起動します。
 - **Windows コマンド:** `sc start ssmc`
 - **Linux コマンド:** `service ssmc start`

HPE 3PAR CLI による LDAP のセットアップ

このタスクについて

LDAP の AD 構成を取得すると、SSMC のエクスペリエンスを簡素化し、管理するために必要な詳細および情報を入手できます。

LDAP Authentication Best Practices を参照してください。

手順

1. LDAP サービスのアカウントフィールドを設定します。

```
setauthparam -f ldap-service-account <account_name>
setauthparam -f ldap-service-account-password <password>
```
2. 証明書フィールドとオブジェクト属性フィールドを設定します。

```
setauthparam -f ldap-2FA-cert-field <value>
setauthparam -f ldap-2FA-object-attr <value>
```

インストール手順

-
- ❗ **重要:**
アップグレードプロセスでは、CA 証明書が上書きされます。SSMC 自己署名証明書と置き換える CA 証明書をインポートしていた場合は、CA 証明書を再度インポートする必要があります。手順については、*HPE 3PAR StoreServ Management Console 管理者ガイド*を参照してください。
-

SSMC サーバーは、さまざまな Windows および Linux 環境で利用できます。サイレントインストールオプションも利用できます。

SSMC インストールパッケージのダウンロードについては、Hewlett Packard Enterprise **Software Depot** を参照してください。

インストールの要件および推奨事項の詳細については、*HPE 3PAR StoreServ Management Console 3.0 管理者ガイド*を参照してください。

❗ 重要:

SSMC は、リモートインストール、シンボリックリンクを使用したインストール、またはその他のインストール方法をサポートしていません。

Windows 環境への SSMC のインストール

このタスクについて

❗ 重要:

インストール CD はシステムに同梱されていません。ご使用のシステムの注文時に物理メディアによる LTU (License to Use) 配布方式を選択した場合は、ご注文時に発送されたインストールメディアを使用します。電子配布を選択した場合は、Hewlett Packard Enterprise e-Software Delivery Confirmation の電子メールで詳しい説明を確認してください。

Windows 環境へ SSMC をインストールするには、以下の手順を実行します。

手順

1. セットアップファイルをダブルクリックして、インストールウィザードを起動します。
2. プロンプトが表示された場合は、使用する言語を選択します。そうでない場合は、はじめに画面を読んで、**次へ**をクリックします。
3. ライセンス契約を受け入れ、**次へ**をクリックします。

💡 ヒント:

SSMC の再インストールまたはアップグレードを行う場合、既存のデータが削除されていないと、その情報の保持または削除を選択するプロンプトがシステムにより表示されます。以前のデータを保持するには、**はい**を選択します。以前のすべての SSMC データを削除するには、**いいえ**を選択します。

4. インストール先のターゲットフォルダーを選択するか、またはデフォルトのフォルダーを受け入れ（推奨）、**次へ**をクリックします。
5. ブラウザーが SSMC へのアクセスに使用するセキュアな TCP ポートの番号を入力するか、またはデフォルトのポート 8443 のままとし（推奨）、**次へ**をクリックします（*HPE 3PAR StoreServ 管理者ガイド*を参照してください）。

概要画面に、選択した設定と、インストールに必要なディスクスペースの量が表示されます。

6. これらの設定を受け入れてインストールを続行するには、**Install** をクリックします。これらの設定を変更するには、変更する設定を含む画面が表示されるまで、**前へ**をクリックします。

システムがインストールの最小要件を満たしていない場合、インストーラーは、エラーメッセージを表示します。エラーメッセージについての情報は、*HPE 3PAR StoreServ 管理者ガイド*を参照してください。

インストールしています画面に、インストールの進行状況が表示されます。

インストールが完了した場合、以下のメッセージがシステムに表示されます。

このシステムの保護にファイアウォールを使用している場合は、インバウンドの SSMC TCP ポート 8443 が外部のシステムからアクセス可能であることを確認してください。

7. **次へ**をクリックしてインストールを完了します。
8. **完了**をクリックして、インストールウィザードを終了します。

Windows での SSMC のサイレントインストールオプションの使用

このタスクについて

デフォルト設定または非デフォルト設定のどちらを使用しても、サイレントインストールを行うことができます。

Linux 環境へのインストール

始める前に

SSMC は Linux のヘッドレスバージョンにはないライブラリを使用しているため、ご使用の環境にヘッドフルバージョンがインストールされていることを確認します。

手順

1. スーパーユーザーで以下のコマンドを実行して、インストールを開始します。

```
sh HPESSMC-<version number>-linux-x86_64.bin.HPb
```

または、以下のコマンドでファイルのパーミッションを変更し、インストールを開始することもできます。

```
chmod 775 HPESSMC-<version number>-linux-x86_64.bin.HPb
```

```
./HPESSMC-<version number>-linux-x86_64.bin.HPb
```

2. はいを入力して、表示されているエンドユーザー使用許諾契約書 (EULA) に同意します。
3. ブラウザーが SSMC へのアクセスに使用するセキュアな TCP ポートの番号を入力するか、または **Enter** キーを押してデフォルトのポート 8443 を受け入れます (推奨)。

概要のメッセージに、選択した設定と、インストールに必要なディスクスペースの量が表示されます。

システムがインストールの最低限の要件を満たしていない場合、インストーラーは、エラーメッセージを表示します。エラーメッセージについての情報は、*HPE 3PAR StoreServ Management Console 管理者ガイド*を参照してください。

Linux でのサイレントインストールオプションの使用

このタスクについて

手順

1. 以下の Linux コマンドを使用して、bin.HPb パッケージからファイルを展開します。

```
sh HPESSMC-<version number>-linux-x86_64.bin.HPb --tar xvf
```

これにより、hpeSSMC-<version number>-x86_64.rpm ファイルが展開されます。

2. 以下の Linux コマンドを実行して製品をインストールします。

```
chmod 775 hpeSSMC-<version number>-x86_64.rpm
```

```
rpm -i hpeSSMC-<version number>-x86_64.rpm
```

デフォルトのセキュアなポートを変更する場合は、インストール後に手動で変更する必要があります。

3. インストールが完了したら、以下の Linux コマンドを入力してサービスを起動します。

```
service ssmc start
```

関連情報

SSMC の最新のドキュメントは、[Hewlett Packard Enterprise Information Library](#) から入手できます。

入手可能なドキュメントは、次のとおりです。

- *HPE 3PAR StoreServ Management Console 管理者ガイド*
- *HPE 3PAR StoreServ Management Console ユーザーガイド*
- *HPE 3PAR コマンドラインインターフェイス管理者ガイド*

- HPE 3PAR StoreServ ストレージコンセプトガイド
- HPE 3PAR Peer Motion および HPE 3PAR Online Import ユーザーガイド

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (docsfeedback@hpe.com) へお寄せください。この電子メールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。